

大阪国際大学

2017年11月6日

報道関係者 各位

大阪国際大学国際教養学部の学生が、11月10日開催予定の『全国カレッジフットパスフォーラム in 北九州』で「鹿野ちゃれっじー果樹の里山をデザインする」を発表。

大阪国際大学(大阪府守口市)国際教養学部の久保由加里准教授のゼミ生3人が、地域活性化と人材育成で覚書を締結している鳥取市鹿野町での観光交流プログラム「鹿野ちゃれっじー果樹の里山をデザインする」について報告します。観光学を学ぶ学生らは、鹿野町河内地区で耕作放棄地を観光交流空間に再生するため、NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会ら地域の人々とともに土台づくりから参画しています。その貴重な体験をもとにレポートを作成し、11月10日のフォーラムで発表します。

久保准教授は、森林や田園地帯、古い町並みなどを楽しみながら歩くイギリス発祥の“フットパス【foot path】”(小径)を取り入れた「まちづくり」の研究をしており、2014年から鹿野町の強みを活かした観光交流プログラム「鹿野ちゃれっじー」(チャレンジ+カレッジ)を企画するなど、継続的に活動を行っています。同地区へ他府県の学生たちやさらには留学生が参加することにより、普段当たり前のことが地域の宝として改めて発見されています。このフォーラムは、北九州市立大学主催で、11月10日(金)、北九州市立大学1号館で13時30分より開催予定。

▼お問い合わせ

大阪国際大学 国際教養学部 国際観光学科

久保 由加里 准教授

電話 06-6902-0791 (代)

(発信元：大阪国際学園法人本部事務局 企画・広報課)

